

最大解像度 4K(3840×2160P)録画 ドライブレコーダー 【取扱説明書】

DVR-D022/DVR-D022A共通

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■本体各部名称	7
■microSDカードの挿入・取り出し	8
■本機の取り付け	9
■リアカメラの取り付け(DVR-D022)	11
■電源のON/OFF	12
■モード切替	13
■カメラ表示切替(DVR-D022)	14
■カメラ表示切替(DVR-D022A)	15
■動画記録モード	16
■静止画モード	17
■再生モード(ファイル再生/削除)	18
■本体(全般)設定	19
■GPSデータ再生ソフト	20
■よくある質問	22
■製品仕様(DVR-D022)	23
■製品仕様(DVR-D022A)	24
■ファームウェアについて	25
■商品保証書	26

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- SDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
 - 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
 - 3.本機の仕様には適合するmicroSDカード以外を使用した場合
 - 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
 - 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
 - 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
 - 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合
- ※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
 - 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合
- ※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
- 11.雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
- ※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。
- 12.衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - 13.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

使用上のご注意

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録(上書き)します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

【microSDカード(別売)について】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

■使用できるmicroSDカードについて

本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」microSDカードと総称して表示しています。

本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。

・microSDHCカード

容量8～32GB、スピードクラス:CLASS10以上

・microSDXCカード

容量:32～512GB、スピードクラス:CLASS10以上

※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。

使用上のご注意

■もしも事故に遭われた場合のご注意

- 1.もし事故に遭われた場合は、OK(緊急録画)ボタンを押して録画を停止してください。
- 2.電源ボタンを長押しすると本体の電源がOFFになりますので、その後にmicroSDカードを抜いて保管してください。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

■本機はDC12/24Vマイナスアース車専用です。

12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。上記以外のお車にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。

■本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

■音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

■本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

■機器内部に水や異物を入れないでください。

発煙、発火、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。

落雷により、感電の危険性があります。

■本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。

■microSDカード挿入口に異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面が黒くなってから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあてないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



NO.	名称	働き
1	取り付けステー	両面テープで本体を取り付ける
2	フロントカメライメージセンサー	4K 800万画素 SONY IMX415 (STARVIS)
3	インナーカメライメージセンサー	200万画素 SONY IMX307 (STARVIS)
4	リアカメライメージセンサー※2	200万画素 SONY IMX291 (STARVIS)
5	microSDスロット	micro SDカードを挿入します(最大512GB (Class10かつFAT32必須)まで対応)
6	電源ボタン	長押しで電源をON/OFFする
7	リセットボタン	本体がリセットされる。※1
8	電源入力端子	本機へ電源入力端子 (DC 5 V/2A)
9	リアカメラ入力端子	リアカメラ映像信号入力端子
10	液晶	2インチ液晶 (320×240)
11	メニューボタン	各種設定に移動する
12	▲アップ (録画) ボタン	▲移動・選択、録画開始ボタン
13	▼ダウン (録音) ボタン	▼移動・選択、録音開始ボタン
14	表示切替ボタン	フロント・インナー・リアに画面表示を切り替える
15	OK (緊急録画) ボタン	OK、緊急録画開始ボタン

※1 本体が正しく動作しなくなった時にリセットしてください。強制的に再起動します。

※2 DVR-D022付属品

microSDカードの挿入・取り出し

■microSDカードを挿入する

- 1.本機の電源を「OFF」にする
- 2.メモリーカードの印字面を裏にして挿入する



■microSDカードを取り出す

- 1.本機の電源を「OFF」にする
 - 2.メモリーカードを押して、メモリーカードが飛び出たら引き抜く
- ※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



ご注意

microSDカードは本体からフォーマットを行ってください。

Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので、microSDカードは

1週間毎にフォーマットしてください。

※対応範囲:8~512GBまで、Class10かつFAT32必須

本機の取り付け

本体を取り付ける前に仮配線して
動作確認してください。

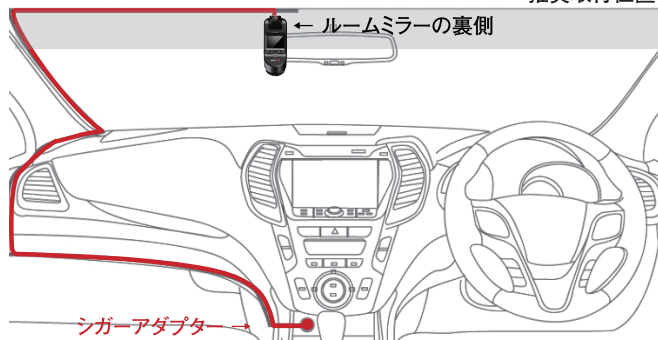
次の手順に従って、本製品を正しく取り付けしてください。

1.推奨取り付け位置

フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内またはフロントガラス下部から150mm以内に、運転手の視界を妨げず、自動車の前部がすべて映像として記録できる設置位置を選んでください。

ルームミラーの左右にずらして設置した場合も、映像は全方位で記録されるため、死角の少ない映像を撮影することができます。

推奨取付位置



2.取り付けステー(ブラケット)の装着/取り外す

本機の背面にある凹部分とブラケットの凸部分に合わせます。

- 取り付け:ブラケットを「ガチッ」と音がするまでスライドさせてください。
- 取り外し:取付けと逆方向にブラケットをスライドさせ、本体のジョイントレールから外してください。

ご注意

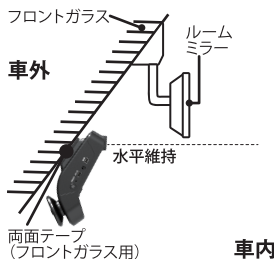
取付ステーは奥まで確実に装着しないと、走行中に落下する恐れがあります。

3.本機の取り付け

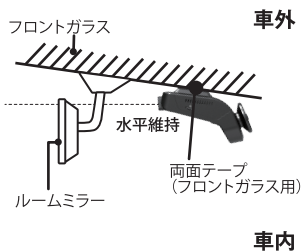
本体に取り付けステーを取付てから保護フィルムをはがして、取り付けステーをフロントガラスの上に押し付けます。

画面の映像を確認しながら、レンズの角度を調整します。

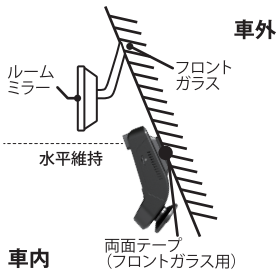
■一般的な乗用車



■フロントガラスが寝ている車



■ワンボックスやトラック



■車内カメラの角度調整



車内映像が入るよう、車内撮影用カメラレンズの角度を上下に調整してください。

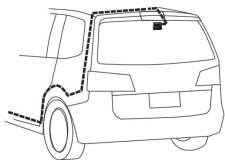
ご注意

貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。

前方を遮ることがないように取り付けてください。

上記の図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平を維持できていないと、正しい状態で録画できません

リアカメラの取り付け ※(DVR-D022付属)



推奨取付位置

レンズの角度を調整後、貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後に両面テープでしっかりとリア窓ガラスに貼り付けます。

※必ず実際の映像を確認してから貼り付けてください。
※リアカメラは防水対応ではありません。窓ガラスの内側に貼り付けてください。



取付例

バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行ってください。リアカメラおよびケーブルに損傷ができると、カメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。



上下角度調整可能

車外映像が入るよう、車外撮影用カメラレンズの角度を上下に調整してください。

ご注意

確実に装着しないと、走行中に落下する恐れがあります。

電源のON/OFF

車のエンジンに連動して電源ON/OFFが切り替わります。

※電源ONと同時に録画を開始します。

また 電源ボタン 長押しでON/OFF切替もできます。



ご注意

スーパーキャパシタ使用について

本機はスーパーキャパシタ使用でバッテリーを内蔵されていないため、外部電源に接続しない場合は電源ONになりません。

※起動時間は15秒に設定されています。

※時間・設定を記録する為、コインバッテリーが内蔵されています。

モード切替

録画停止している状態で、メニューボタンを長押しすると《動画記録モード》⇒《静止画記録モード》⇒《再生モード》に切り替わります。



動画記録モード



静止画モード



再生モード



3カメラ・2カメラ表示の場合、表示切替ボタンを短押しすることによりカメラ表示が切り替わります。

■3カメラ表示の場合 ※フロント+インナー+リアの場合

<3カメラ表示>

<フロント表示>

<インナー表示>

<リア表示>



■2カメラ表示の場合

<2カメラ表示>

メイン:フロント
小窓:インナーorリア

<インナー表示>

<フロント表示>

<2カメラ表示>

メイン:インナーorリア
小窓:フロント

<フロント表示>

<インナー表示>



2カメラ表示の場合、表示切替ボタンを短押しすることによりカメラ表示が切り替わります。



動画記録モード

動画モード時に ▲アップ(録画)ボタン を押すと録画を開始します。
もう一度押すと録画を停止します。

▲アップ(録画)ボタン を押すと録音ON/OFFを切り替えます。
録画中に メニューボタン を押すと録画中のデータをロックします。

メニュー設定項目について

録画を停止してから、メニューボタン 短押しで動画記録モードの設定画面が表示されます。もう一度押すと本体(全般)設定の画面が表示されます。

▲アップ(録画)ボタン・▼ダウン(録音)ボタン でカーソルを操作し、設定したい項目を選択して OK(緊急録画)ボタン で決定します。設定画面から戻るには メニューボタン を押します。

動画記録モード設定

《解像度》録画時の解像度を設定します。

※前中後同時録画時は[フロント/1440P @28fps+インナー/1080P @30fps+リア/1080P @30fps]固定 (DVR-D022)

《ループ録画》1データごとの録画時間を設定します。

《露出》録画の明るさを調整します。

《動体検知》動体検知録画モードをON/OFFを設定します。

《録音》録音のON/OFFを設定します。

《日付ラベル》日時スタンプのON/OFFを設定します。

《Gセンサー感度》Gセンサー(重力センサー)の感度を設定します。

《駐車監視時間》駐車監視停止時間を設定します。

《駐車監視》駐車監視モードを設定します。

※3芯電源ケーブル(別売)使用時のみ機能します。

《タイムラプス録画》フレームレートを設定します。



動画記録モード

静止画記録モード

録画を停止して、▲アップ(録画)ボタンを約3秒間長く押しと、静止画モードに入ります。

メニュー設定項目について

静止画モードで、メニューボタンを短押しで静止画モードの設定画面が表示されます。もう一度押しと本体(全般)設定の画面が表示されます。

▲アップ(録画)ボタン・▼ダウン(録音)ボタンでカーソルを操作し、設定したい項目を選択してOK(緊急録画)ボタンで決定します。
設定画面から戻るにはメニューボタンを押しします。

静止画モード設定

- 《撮影モード》シングル、タイマーの設定ができます。
- 《解像度》静止画の解像度を設定します。
- 《連写》連写のON/OFFを設定します。
- 《画質》画質の設定ができます。
- 《シャープネス》コントラストを設定します。
- 《ホワイトバランス》ホワイトバランスを設定します。
- 《日付ラベル》日時スタンプのON/OFFを設定します。
- 《ISO》ISO感度を設定します。
- 《露出》静止画の明るさを調整します。

録画モードから
約3秒間長押し



静止画記録モード

再生モード(ファイル再生/削除)

録画停止の状態です ▲アップ(録画)ボタン を約2回長く押しすと再生モードに入ります。

▲アップ(録画)ボタン・▼ダウン(録音)ボタン で再生するデータを選択します。

OK(緊急録画)ボタン で再生を開始します。もう一度押しと一時停止します。

動画再生中に ▲アップ(録画)ボタン・▼ダウン(録音)ボタン を押しすと早送り/巻き戻しができます。

メニューボタン 短押しで再生設定画面が表示されます。もう一度押しと本体設定の画面が表示されます。

再生モード設定

《削除》データの削除を行います。

《ロック》データのロックやロック解除を設定します。

《スライドショー》設定した秒数ごとに順番にデータを表示します。

録画モードから
約2回長く押し



再生モード

本体(全般)設定

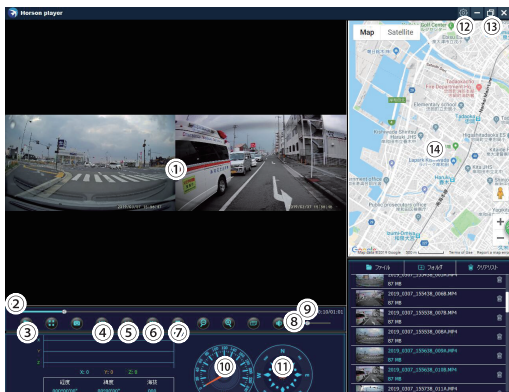
- 《日付/時刻》日時を設定します。
- 《電子音》操作音のON/OFFを設定します。
- 《言語》表示言語を設定します。
- 《フリックレス》電源周波数を設定します。(50Hz・60Hz)
- 《画面自動オフ》画面非表示にするスクリーンセーバーになるまでの時間を設定します。
- 《GPS》GPS機能のON/OFFを設定します。
- 《タイムゾーン》タイムゾーンを設定します。
- 《フォーマット》microSDカードをフォーマットします。
- 《設定初期化》本体の設定をリセットします。
- 《バージョン》本製品のバージョン情報を表示します。

GPSデータ再生ソフト「Horson Player」

ファイル再生ソフト「Horson Player」を使用することでGoogleMap等と連動して動画再生ができます。「いつ」「どこで」「どのくらいの速度で」など様々な走行データを確認することができます。

●GPS再生ソフトをご使用の場合は下記URLより
「DVR-D022/DVR-D022A GPS再生ソフト」をダウンロードしてください。

https://www.maxwin.jp/content/dvr_detail.html



- ※再生ソフトのバージョンやパソコンのOSなどにより表示や機能が異なる場合があります。
- ※全てのパソコンにおいての動作を保証するものではありません。
- ※再生ソフトの動作またはソフトインストールによるパソコンの不具合等については保証いたしかねます。
- ※コピーやインストールはご自身の責任において行ってください。

⚠ 注意

Google Mapに経路を表示するため、動画を再生する前に、パソコンのインターネット接続をご確認ください。

①再生画面

再生画面を表示、ダブルクリックすると再生画面のみ画面最大化

②スクロールバー

クリック、ドラッグで巻き戻し、早送りが可能

③ファイル読み込み

再生したいデータを開く

④前へ

再生リスト内の1つ前のデータに移動

⑤再生・一時停止

動画を再生/一時停止

⑥次へ

再生リスト内の1つ後のデータに移動

⑦停止

動画の再生を停止

⑧音量調整

録画データの音声を大/小調節が可能

⑨再生/総合時間

再生している動画の再生した時間/総合時間を表示

⑩速度メーター

走行中の速度を表示

⑪方角

走行中の方角を表示

⑫設定ボタン

言語変更・マップ・スピードメーター変更

⑬全画面表示

ソフト画面を最大化

⑭地図表示

地図上で車の位置を表示

よくあるご質問

ご質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入らない ●エンジンを停止したとき、または本製品が作動しているときすぐに電源がオフになってしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ●シガープラグとケーブルの断線などが無いかを確認してください。 ●本製品の電源端子が外れていませんか?接続を確認してください。 ●本製品はバッテリーレスです。駐車監視モードにされる際は別途常時電源ケーブル等をご用意ください。
異常動作	システムエラーの可能性あります。リセットボタンを短押しし、本製品を再起動してください。
記録された動画、静止画が表示されない、または壊れている	録画中は再生できません。 ●microSDカードが破損している可能性があります。新しいmicroSDカードに差し替えてください。 上書き回数が数千回を超えると、記録できなくなる場合があります。
記録が出来ない	microSDカードが挿入されているか確認してください。
ファイルの読み込みがとても遅い	Class10のmicroSDカードをご使用ください。
常時録画ができない	ロックされたファイルが溜まってしまい、常時録画を保存する容量が不足している可能性があります。不要なファイルを削除してください。
microSDカードの容量が、すぐに一杯になってしまう	Gセンサーの感度が強すぎると、ちょっとした振動でファイルがロックされてしまう場合があります。そうすると、ロックされたファイルが溜まってしまい、容量が足りなくなってしまうます。設定メニューのGセンサーの感度を調整してみてください。
液晶画面が表示しない	画面が非表示になっていませんか?画面をタッチするか、電源ボタンを短押ししてみてください。
信号の色が記録されないことがある	映像の記録周期とLED方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。

製品仕様

(DVR-D022)

モニター	2インチカラー液晶(320×240)
フロントカメラ	4K 800万画素 SONY IMX415(STARVIS)
インナーカメラ	200万画素 SONY IMX307(STARVIS)
リアカメラ	200万画素 SONY IMX291(STARVIS)
録画解像度	3カメラ録画の場合: フロント:1440P(28FPS)+インナー:1080P(30FPS) +リア:1080P(30FPS) フロント:1080P(28FPS)+インナー:1080P(30FPS) +リア:1080P(30FPS) 2カメラ録画の場合: フロント:2160P(28FPS)+インナー:1080P(30FPS) フロント:2160P(28FPS)+リア:1080P(30FPS)
録画モード	ループ録画 駐車監視録画: 動体検知録画(別売3芯電源接続ケーブル要) タイムラプス録画(別売3芯電源接続ケーブル要)
動画ファイル形式	MP4
メモリーカード	microSDカード (class10以上最大512GBまで対応)
駐車監視	○
Gセンサー	○
電源	DC5V(2A)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

製品仕様

(DVR-D022A)

モニター	2インチカラー液晶(320×240)
フロントカメラ	4K 800万画素 SONY IMX415(STARVIS)
インナーカメラ	200万画素 SONY IMX307(STARVIS)
録画解像度	フロントカメラのみ録画の場合: 2160P(28FPS) 2カメラ録画の場合: フロント:2160P(28FPS)+インナー:1080P(30FPS) フロント:1440P(60FPS)+インナー:1080P(30FPS) フロント:1080P(120FPS)+インナー:1080P(30FPS) フロント:1080P(28FPS)+インナー:1080P(30FPS)
録画モード	ループ録画 駐車監視録画: 動体検知録画(別売3芯電源接続ケーブル要) タイムラプス録画(別売3芯電源接続ケーブル要)
動画ファイル形式	MP4
メモリーカード	microSDカード (class10以上最大512GBまで対応)
駐車監視	○
Gセンサー	○
電源	DC5V(2A)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



https://www.maxwin.jp/content/support_file/dvr-d022_update.html

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp
へお問い合わせください。

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for taking notes. The box is oriented vertically and occupies most of the page area below the header.

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for taking notes. The box is oriented vertically and occupies most of the page area below the header.

MAXWIN